



『清規（せいぎ）』と『陋規（ろうぎ）』

社会には『清規（せいぎ）』と『陋規（ろうぎ）』というものがあります。

『清規』は表向きの道徳を指します。人の物を盗んではいけません。喧嘩をしてはいけません。親孝行をしましょう。といった訓戒はいずれも『清規』に属します。

これと一対を為す『陋規』は、裏の道徳とも言うべきものです。例えば、喧嘩もただ無軌道にやるのではなく、素手で行う、一対一で行う、自分より強い者で行うなど、一定のルールにのっとってやる。同様に泥棒にも掟があるといった**暗黙の約束事**も皆『陋規』に含まれます。

芝居などで有名な鼠小僧治郎吉は、貧しい家を襲わないこと、放火をしないこと、女性に乱暴をせぬこと、この三つの掟に則って盗みを働き、義賊として庶民の喝采を浴びました。また、任侠映画が観客を魅了するのも、『陋規』に満ちた世界を描いてるからと言えるでしょう。芸能の世界ばかりでなく武士道や職人芸、スポーツなど一つの道を貫く世界や、地域のお祭りなどにも『陋規』は満ち満ちています。

『清規』が大切であることは言うまでもありませんが、社会というのはそうした建前や綺麗事（きれいごと）ばかりで成り立つものではありません。『陋規』の裏打ちがあることによって秩序が保たれ、温かみや潤いをもたらされる面もあることは、否定できない現実なのです。

高齢者をだます振り込め詐欺、数人で一人の少年を追い詰めて殺害するなど、社会全体が越えてはならない一線を超えてしまっています。こうした**恥も外聞もないこと**が横行するようになったのは、『陋規』を育ててきた地域の繋がりが薄れ、尊い伝統が失われつつあることも深く関係しているように思われます。

昨年度、首相が、国民に COVID-19 感染防止のために4人以上の会食を慎むように求めながら、自ら国会議員7人での忘年会に出席したことが表沙汰となり、意見交換や情報収集を口実にしていました。また、検事長が賭けマージャンをしていたことが判明し、賭け金のレートが低かったから問題ないという見解が発表されました。法を司る者が行ってよいことなのでしょうか？ これこそ、**『陋規』なき状態です。**人々は、政治家など日本のリーダーたちから、法律などの『清規』を押しつけられて、それを本気で守るのでしょうか？ 皆それぞれが、自分の利益だけを追求し、**「あの人もやっている」と主張すること**でしょう。**「信なくば立たず」**とは、こういうことだと思います。

「清規」とは明文化されたルールであり、「陋規」とは明文化されていないけれども社会的に守るべきもの。元来、慮（おもんばか）りの文化である日本においては「陋規」が重視されていましたが、欧米型の思考がかなり入ってきた昨今では、細かに練られた「清規」が重視されているように思えます。しかし、「陋規」が失われ、ルールを守る意識が無くては、ルールは機能せず、勝手をする者が増えるばかりではないでしょうか。

さて、ウクライナ情勢について考えてみれば、ウラジーミル・プーチンの行っていることも、『陋規』なき非道であると感じます。

3月3日 I組『SDGs SHOP』

新型コロナウイルス感染症以前は、I組では調理実習で培った技術を『I組食堂』として、地域の方たちに披露する場がありました。新型コロナウイルス感染症により、実施が出来なくなり、新たにスエーデン刺繍等の技術を披露し、皆様に購入していただける喜びを得る為に商品化し、『SDGs SHOP』で販売（バザー）をいたしました。

ご協力をいただいた皆様に感謝を申し上げます。



3月11日 2年生『スキー教室』

宿泊は、中止となってしまいましたが、1日、2年生みんなでスキーにチャレンジです。



3月13日～15日 3年生『修学旅行』

待ち望んだ修学旅行を実施することが出来ました。



東京都教育委員会生徒表彰 1年C組 八尋 俊司くん

八尋くんが、複数のピアノコンクール（全国レベル）で入賞したこと、学校での合唱コンクールの伴奏などでの活躍から、東京都教育委員会から「地道な活動を継続的に行い、他の児童・生徒等の範となる者」として表彰をしていただきました。



東京都産業教育奨励賞

3年I組 永井 愛望さん
3年A組 川合 悠仁くん
3年B組 伊藤 夢萌さん



東京都体育優良生徒表彰

3年I組 野部 元気くん
3年A組 小宮 紬さん
3年C組 小嶋 一成くん

